

今月の題字



くまの

熊野第四小学校5年 西田 咲希 さん

▼熊野第四小学校1年 菊池 亮汰 さん



【評】「のつてみたいないきたいな」の学習で、トカゲにのつて大好きな動物の国へ行く様子を、クレヨンを使って力強いタッチで描くことができました。

▼熊野第四小学校3年 宮岡 珠丹 さん



【評】たて画、横画の長短、画間をよく考えてバランスよく書かれています。筆勢も感じられ力強い作品になっています。

熊野の自然 特別編その2 (印象に残っている題材・“出会い”)



▲熊野の自然 (101) ソヨゴ



▲熊野の自然 (113) ジョウビタキ

先月号に引き続き、長年「熊野の自然」を執筆された富沢由美子さんのインタビューをお送りします。

富沢さんに、特に印象に残っている題材について聞いてみました。

「ソヨゴを題材にした時は、赤い実の写真を撮りに熊野に行って良い被写体を探し回ったので印象に残っています。それから、車に入ってしまったジョウビタキという鳥や、初めて出会ったカゴタケというキノコなどです」。

読者に興味を持ってもらえるように、使用する写真にもこだわられていたそうです。また驚くことに、使

用する写真は加工を一切していないそうです。そのため構図や日の当たり方などが理想的な被写体との出会いは、富沢さんにとってありのままの自然の姿を伝えるにあたり非常に大きかったそうです。

「“出会い”は、本来、人と人との出会いの際に使うんですよね。そうでないものは“出会い”を使うんです。ただ私は、植物との出会いも人と人との出会いと同じような気持ちがあるのであえて植物にも“出会い”の字を使っているんです」。そう語る富沢さんからは、植物への深い愛情が感じられました。

(3月号に続く)

筆の駅ミニギャラリー

●富士山絵画展

(青岳庵コレクション)

時2月3日(木)～15日(火)

熊野町在住の絵画コレクター青岳庵(大立純正)さん3回目の絵画展。今回は日本人の心の原点である富士山をテーマに、木版画・リトグラフの技法を用いた川瀬巴水、井堂雅夫、定方塊石etcの作品です。



富士山 (青岳庵コレクション)

熊野町観光案内所「筆の駅」

熊野町出来庭10・6・24

開85・1123(いいふみ) 開10時～16時

(各展示の最終日は15時閉場)

休水曜日・第3日曜日

お盆、年始年末

※無料

※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。



分りやすく、読みやすく、間違えにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。

「広報くまの」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。

